

高等学校 令和8年度（2学年用）

教科 家庭科

科目 家庭総合

教科： 家庭科

科目： 家庭総合

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組

使用教科書：（ 新家庭総合 実教出版 ）

- 教科 家庭科
- の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、 それらに係る技能を体験的に身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。	・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。	・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 自分らしい生き方と家族 1節 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～ 【知識及び技能】 ・ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の将来とこれからの社会について考えることができるようにする。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 自分自身や将来について考えるワークシートなどを通して、自分や人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	2
	2節 自立と共生【知識及び技能】 ・人生設計に必要な要素を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の将来とこれからの社会について考えることができるようにする。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題をみつけることができる。 【思考・判断・表現】 自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。	○	○		2
	3節 ライフキャリア 【知識及び技能】 ・労働の種類、またその意義について多面的に検討できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・労働を支える社会や地域のしくみを知ることで、私たちもその一員であるという自覚を持つことができるようにする。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 生活にかかわる労働の意義、また、現在の労働環境などについて理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働の意義や役割、労働時間と生活時間との関わりについて関心をもち、現在の家族・家庭がかかえる課題を見いだそうとする。	○		○	2
	4節 共に生きる家族 【知識及び技能】 ・結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考えられるようにする。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】 現在の家族の抱える問題・課題などについて、情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心をもとうとしている。	○	○	○	3
	5節 家族に関する法律 【知識及び技能】 ・家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 ・法律は自分たち一人ひとりの認識にもとづく社会の要請を受けて検討、改正されていくことを理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 家族に関する法律についての知識を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族、家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解をしようとしている。	○		○	2
	定期考査			○	○		1

2 学 期	第2章 子どもとかかわる 1節 子どもとは 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの世界と出会うことによって、自己理解を深める。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかかわりながら、理解しようとする。	○			2
	2節 子どもの発達 【知識・技能】 ・子どもの誕生,子どもの心身の発達と特徴について理解する。 【思考・判断・表現】 ・子どもは、親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいのなかで発達していくことを理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。	○	○		2
	3節 子どもの生活 【知識・技能】 ・子どもの食生活・衣生活,遊びについて理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの遊びの意義や課題について考えを深める。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 子どもとの接し方,子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの発達の様子や生活に興味・関心をもとうとしている。	○		○	2
	4節 子どもをはぐくむ 【知識・技能】 ・子どもを生み、育てる意義について理解する。 【思考・判断・表現】 ・現代の親子にかかわる課題と、解決の方向性を探る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 生命の尊さ,子育ての意義について理解することができる。 【思考・判断・表現】 現代の親子にかかわる課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	○	○	○	2
	第9章 経済的に自立する 1節 暮らしと経済 【知識・技能】 ・生活における経済と社会のかかわりについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・家庭経済を国民経済,国際経済の関係性の理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家庭の収入や支出,予算生活の必要性について理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 【思考・判断・表現】 家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。	○	○	○	2
	2節 将来のライフプランニング 【知識・技能】 ・生活設計とかかわらせて,長期の経済設計の必要性について理解する。 【思考・判断・表現】 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について理解を深める。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 【思考・判断・表現】 将来のライフイベントとその費用を考えることができる。	○		○	2
	定期考査			○	○		1
3	第8章 消費行動を考える 1節 消費行動と意思決定 【知識・技能】 ・消費行動において,意思決定のプロセスが重要であることを認識する。 【思考・判断・表現】 ・主体的な消費行動について多角的に考える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報リテラシーを身につける大切さを理解する。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 【思考・判断・表現】 消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	2
	2節 消費生活の現状と課題 【知識・技能】 ・契約,多様な販売方法や支払い方法について理解する。 【思考・判断・表現】 ・問題商法による被害を未然に防ぎ、早期解決する方法を考えられるようにする。	・教材（教科書・資料集） ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。	○	○		3

～ 学期	3節 消費者の権利と責任 【知識・技能】 ・消費者の権利と責任について理解し,消費において自主的に行動することの必要性を理解する。 【思考・判断・表現】 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と,行動のあり方を検討する力を養う	・教材(教科書・資料集) ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 消費者の権利と責任などについて理解できるとともに,現代の消費生活の課題について認識できる。 【思考・判断・表現】 消費者としての自覚を持ち,消費者の権利と責任を考えることができる。	○	○		2
	4節 ライフスタイルと環境 【知識・技能】 ・資源・環境に配慮した生活スタイルについて考え,実行できる。 【思考・判断・表現】 ・日々の暮らしの中で,持続可能な社会をめざした行動をすることができるようになる。	・教材(教科書・資料集) ・ワークシート ・一人1台端末を活用して、映像資料の確認や課題の配布を行い、学習活動を支援する。	【知識・技能】 家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・消費行動と環境とのかかわりについて,生活と関連させながら課題を見つけ,解決の方向性を判断することができる。	○	○		2
	定期考査			○	○		1
							35